

ANTI CORONA

2020 年 11 月 30 日発行
発行人：橋本敦子
発行所：〒650-0024 神戸市中央区
海岸通 8 神港ビルヂング 625
TEL：078-393-0050
FAX：078-393-0051
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL：<http://www.kobekeio.org/>
編集人：鳥巢慶太／天竹清裕

10 月例会

後藤大悟 (平 13 経)

2020 年 10 月 9 日 10 月度例会は、GIORONE にて出席者 22 名のもと開催されました。テーマは 2019 年ラグビーワールドカップ神奈川県実行委員長もされていた幹事の康乗先輩による講演でした。

講演内容は、ここでしか話してできないという事満載という事で、去年のラグビーワールドカップが開催されたこと、予選、決勝戦が横浜で開催できた事の様々な奇跡を当事者しか知りえない臨場感、実名を交えながらお話ししていただきました。

私自身も昨年予選の日本戦を現地で観戦させて頂く事が出来たのですが、今回の話を聞いて当日知らないドラマが盛りだくさんで改めて当日の感動を思い起こすことができました。特に巨大台風が襲来する中でのスコットランド戦ができた事の横浜市の努力や勝利を目指した関係者の意地に関しては改めて目頭が熱くなりました。

今回 5 つの奇跡という事で講演をして頂きましたが、最後に現在のコロナの状況を考えれば昨年のワールドカップの熱狂ができた事自体が奇跡であったと思います。現在、この状況は 1 年で大きく変わり、ラグビーワールドカップはたった 1 年前の出来事ではありますが、それがはるか昔の出来事のように。いつになるのかわかりませんが、今の社会状況が変わり次に同じような熱狂、奇跡を感じる日を待ちわびずにいれないと思いをはせる時間となりました。

11 月例会

天竹清弘 (平 15 経)

11 月 6 日 11 月例会に参加してきました。今回は鳥巢副幹事長の企画で、講師に矢上 真理恵様をお迎えしての「自力整体セミナー」でした。実技を行うため、定員 20 名での講習でした。

自力整体とは、ヨガのようなゆっくりとした動きで内面を鍛え、自己の免疫力を高める運動だそうです。実際やってみて、これなら自宅でも職場でも空いた時間に簡単にできるなと思いました。これで免疫力が高まるならコロナにもインフルエンザにも負けずにこの冬を乗り切れそうです。講師の矢上様の丁寧な指導で、講義終了後は参加者全員すっきりとした表情でした。



会員だより

《新入会の挨拶》

菊池琴音（平 29 理工）

皆様はじめまして。平成 29 年理工学部生命情報学科卒の菊池琴音と申します。

大学時代は 1~2 年次にスキーサークルに所属し、3~4 年はベンチャー企業にて、エンジニアインターンをしていました。大学卒業後は、成長企業に就職したいと考えていたことから、株式会社 SHIFT、株式会社 AVANT でエンジニアとして仕事をし、その後 1 年間営業として個人事業主をしていました。その後、ご縁があり、関西の小さな会社で働くこととなりました。出身は千葉県でずっと関東にいましたが、仕事の関係で今年の半ばに関西（明石）に引っ越してきました。今後は起業を見据えながら活動をしていく予定です。

学生時代はずっと様々なスポーツをしてきたので、体を動かす事はとても好きです。関西はまだまだ慣れず、またお知り合いの方も少ないのですが、フットワークは軽い方ですし、お酒なども飲めますので、様々な集まりに呼んでいただけたら嬉しいです。

同好会だより

【イーゼル会】

《今月の絵》 天木明（昭 40 商）





新型コロナ対策の現状と 兵庫の元気回復に向けて



兵庫県企画県民部災害対策局長 松久 士朗（昭 62 政）

神戸慶應倶楽部会員の皆様、こんにちは。昭和 62 年法学部政治学科卒業の松久士朗です。私は、本年 4 月から兵庫県の災害対策局長を務めており、県の新型コロナウイルス感染症対策本部で陣頭指揮を執りながら日々頑張っております。県内の感染状況については、11 月に入ってから病院や社会福祉施設等でのクラスター発生などにより新規感染者数が大幅に増加しておりますし、これから冬の季節性インフルエンザとの同時流行も懸念されます。

このため、神戸慶應倶楽部会員の皆様に、県内の感染状況や県のコロナ対策、今後の留意点などの最新情報を知って頂き、家庭や職場、飲食店など様々な場面で、引き続き適切な感染防止対策を図って頂きながら、コロナに負けない力強い社会経済活動を展開して兵庫の元気回復につなげて頂きたいと思い、今回、B R B に寄稿させて頂きました。

（県内の感染状況）＊感染者数等は 11 月 26 日時点

県内の新型コロナ累計感染者数は 5,211 人、累計死者数は 79 人です。4 月からの第 1 波の際には、本県は 4 月 7 日に緊急事態宣言の対象区域に指定され、4 月 11 日に新規感染者 42 人というピークを迎えました。その後、外出自粛などの効果もあり、5 月 21 日に緊急事態宣言も解除され、6 月 18 日までの 33 日間、新規感染者ゼロが続きました。その後、6 月 19 日に再度、新規感染者が確認され、7 月に入ってから感染拡大が続き、7 月 31 日には新規感染者 62 人という第 2 波のピークを迎えました。その後は次第に新規感染者数が減少し、1 日あたりの新規感染者数が 15 人前後で推移していましたが、11 月以降、病院や社会福祉施設等でのクラスター発生などにより、11 月 26 日に 184 人など新規感染者数が大幅に増加しております。直近 1 週間では 1 日あたりの新規感染者数が 120 人以上で推移し、第 1 波・第 2 波を超える「感染拡大特別期」となっており、最大限の警戒が必要な状況が続いています。

全国の感染状況をみますと、東京都が圧倒的に多くて累計 39,079 人（シェア 27.9%）、次いで大阪府 18,784 人（13.4%）、神奈川県 11,893 人（8.5%）、この 3 都府県で約 5 割です。そ

れから愛知県、埼玉県、北海道と続き、ここまでの6都府県で約7割です。それから千葉県、福岡県が続き、兵庫県は全国9位（シェア3.7%）です。また、直近1週間の人口10万人あたりの新規感染者数でみると、トップは北海道（31.28人）、次いで大阪府（27.36人）、東京都（20.36人）、沖縄県（17.00人）、が続いて、兵庫県（15.68人）は5位となっています。これらの状況からすると、兵庫県は東京都や大阪府、北海道ほどではないものの、このところの急激な感染拡大は予断を許さない状況であり、これまで以上に感染拡大防止の徹底を図っていかなければなりません。

（兵庫県のコロナ対応と重点対策）

兵庫県のコロナ対応については、第1波の際には、県民や事業者への一律的な外出自粛や休業要請といった強い規制を行ったために、県民の社会生活や企業の事業活動に大きな影響を与え、その影響は今も続いています。その反省から、第2波以降への対応にあたっては、「感染拡大防止と社会経済活動の両立」を基本に、感染リスクに着目して、例えば、感染防止対策を行っていないお店の利用は自粛しましょうというようなターゲットを絞った対策に転換しています。また、陽性者を確認次第、濃厚接触者や関係者を早期に確定し、幅広く検査を実施して二次・三次感染を封じ込めることを基本にしております。

医療体制については、県立加古川医療センター、神戸市立医療センター中央市民病院、県立尼崎総合医療センターの公立3病院を中心とした公私立病院ネットワークを構築し、重症病床110床を含む671床の入院病床を確保（11/26時点の入院者442人）しており、さらに100床程度の確保を目指しています。また、宿泊療養施設としてホテル5施設、最大700室を確保（11/26時点の療養者219人）しており、さらに200室程度の増強を図ります。これらにより、兵庫県では「自宅療養者ゼロ」を堅持するとともに、新規感染者130人／日が1ヶ月連続して発生しても対応可能な医療提供体制の整備を図ります。また、インフルエンザとの同時流行に備え、かかりつけ医などの身近な医療機関928か所を指定し、発熱時に適切に相談・受診できる体制を整備しています。また、PCR検査体制についても、保健所を介さずにPCR検査を実施できる地域外来・検査センターを拡充し、1日あたり最大2,900件の検査を実施できる体制です。マスクや防護服などの医療資材についても、医療機関用9か月分、社会福祉施設用4か月分を確保できています。

兵庫県では、これらの対策のほか、学校、社会教育施設、社会福祉施設等での対策、県民・事業者の感染防止対策、事業活動への支援など様々な対策について随時、コロナ対策本部会議を開催して「兵庫県対処方針」としてとりまとめ、公表していますので、県ホームページでご覧ください（兵庫県緊急時用トップページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報」）。

（感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」の推進）

兵庫県では、感染拡大を予防する新しい生活様式として「ひょうごスタイル」を推進しています。感染拡大を予防するためのライフスタイルとして、3密の回避や身体的距離の確保、手洗い・手指消毒、マスクの着用、咳エチケットの徹底、体温測定や健康チェックなどに努めるとともに、在宅勤務（テレワーク）やローテーション勤務、時差出勤などのワークスタイルを推進しています。あわせて、自然災害と感染症との複合災害への備えとして、新型コロナに対応した避難所運営ガイドラインを策定し、市町における避難所での感染防止対策にも万全を期しております。

（県民・事業者への注意喚起）

兵庫県は、県民・事業者の皆様に対して感染状況に応じた注意喚起を知事メッセージとして発信しています。直近のメッセージでは、県民の皆様には、①東京、大阪など感染拡大地域への不要不急の往来の自粛、②高齢者や基礎疾患のある方々の不要不急の外出の自粛、③年末に向けてできるだけ不要不急の外出の自粛のほか、④県内外の感染防止策がなされていない感染リスクの高い飲食店等の利用を控えるとともに、⑤飲食店では、「4人以下の単位」ごとでの飲食とし、大声での会話や回し飲みなどを避けること、⑥3密の回避や近距離での会話を避けること、移動中の車やバスの車内でのマスクの着用、⑦多数の人が集まる行事に参加する場合の人との距離の確保・手指消毒、⑧接触確認アプリ「COCOA」の利用などをお願いしております。

また、事業者の皆様には、①業種別ガイドラインに基づく感染防止対策の徹底と感染防止対策宣言ポスターの掲示、②在宅勤務（テレワーク）やTV会議などの推進、③休憩室、喫煙所、更衣室等も含めて職場や寮などにおける3密の回避、④「兵庫県新型コロナ追跡システム」の登録・掲示などをお願いしています。

これらのメッセージは県の「ひょうご防災ネット」スマートフォンアプリでも発信しておりますし、これは豪雨等の災害警戒時にも有用ですので、是非ダウンロードしておいてください。

まずは、アプリをダウンロードしましょう！



QRコードを読み取ってダウンロードしてください。
または、**[App Store][Google Play]**で「ひょうご防災」を検索してください。

Android



iOS



※ウェブ版の「ひょうご防災ネット」をご利用の方にはメールでもアプリを案内します。

（兵庫経済の元気回復に向けて）

兵庫県の足元の経済・雇用情勢は、県内GDPや消費支出、有効求人倍率などいずれをとっても非常に厳しい状況が続いております。このような状況の中で、事業継続と感染症対策を両立しながらの経済活動を支援するため、兵庫県では国交付金等を活用し、7回にわたり総額7,600億円の補正予算を編成（12月補正で約12億円追加予定）し、感染防止対策と経済対策に取り組んでいます。

中小企業の資金繰り対策として、県及び政府系金融機関によるコロナ6資金（コロナ対策貸付、無利子資金等）の制度融資を実施しており、既に約45,000件、8,300億円が融資実行されています（12月補正で「家賃等つなぎ融資枠」を追加予定）。また、サーモグラフィやパーティション、換気設備などの感染防止対策への支援も実施したほか、国の国内投資促進事業費補助金や県の産業立地条例によるサプライチェーンの強化・再構築への支援、BCP（事業継続計画）策定への支援も実施しています。

また、コロナ禍を契機に、都市部から地方への移住やワーケーションなどの動きが高まりつつあります。パソナグループも本社機能の淡路島への移転計画を発表しました。このような都市部

から地方への流れが今後さらに加速化することも見据えて、県では、移住・二地域居住・ワーケーションの推進や兵庫情報ハイウェイの増強のほか、ものづくり産業など従来の強みに加え「起業・創業の活性化」による兵庫経済の強化を推進しています。9月にはコワーキング施設「起業プラザひょうご」を三井住友銀行神戸本部ビル内に開設し、今年度中に姫路と尼崎にもエリア拠点を整備します。また、11月6日にはアジア初のUNOPS（国連プロジェクトサービス機関）のGIC（グローバル・イノベーション・センター）も併設してオープンされ、今後、世界中からスタートアップ企業が集積します。このようなポストコロナ社会への新たな動きを兵庫経済の元気回復につなげていくことが期待されます。

私は今回のコロナ禍を通じて、これまで経験したことのない新たな課題に直面し、いろいろなことを学びました。おそらく神戸慶應倶楽部会員の皆様も今回、多くの新しいことを経験し、これまで見ていなかったことを教訓として学ばれたこともあったのではないかと思います。そうした経験と教訓を今後の社会生活や事業展開に確実に生かして、次なる災害や危機事案にしっかりと対応できる力を備えることが重要であり、それが新型コロナに対する「やられたらやり返す 倍返し・千倍返し」につながると確信しています。

また、コロナ禍の中で、家族や友人、上司・同僚・部下、取引先などからのいろいろな支えや協力もあったのではないのでしょうか。こうした本当に困った時の支援や協力ほどありがたいものはありませんし、本当の信頼関係を築けるものだと思います。その意味では、まさに「施されたら返し返す 恩返し」というのも大事なことも知れません。

最後は『半沢直樹』の名言にたどり着いてしまいましたが、このたびはBRBの誌面を借りて、兵庫県のコロナ対策の一端をご紹介させて頂き、ありがとうございました。少しでも皆様のご参考になれば幸いです。また、県のコロナ対策や防災・危機管理対策についてご関心やご質問などがあれば、ご遠慮なくご連絡ください。

これからそろそろ冬本番が近づいてまいります。この冬はコロナとインフルエンザに特にご注意くださいとともに、皆様の益々のご健勝とご発展を祈念いたします。



新入会員

・菊池 琴音 (平 29 理工)
株式会社 ふえにつくす
榊原研究室／読書・筋トレ
千葉・昭和学院秀英高

・武内 靖貴 (平 10 商)
兵庫県
経営会計研究会／音楽鑑賞
兵庫・滝川高

今後の予定

●12月クリスマス例会 お一人様での参加也大歓迎！

日 時：12月19日（土）18時00分～（受付開始：17時30分）

場 所：神戸ポートピアホテル

本館1階イタリアンバー「EREMO（エレモ）」

企 画：中内副幹事長

会 費：大人 8,000 円（ビジター+1,000 円）

中学生以上未成年 6,000 円／小学生（キッズメニュー）3,000 円

※コース料理となります。

※小学生で大人と同メニューを希望の場合は6,000円となります。

締 切：12月13日（日）

☆恒例のオークションを行いますので、何か一品お持ち寄りください☆

☆参加ご希望の方は、氏名・卒年・学部を事務局までお知らせください☆

●新年顔合わせ会

お時間の許す方は、三々五々お集まりください。

日 時：1月4日（月）11時30分～14時30分

場 所：神港ビル6階 倶楽部ルーム

企 画：黒川幹事

☆多少のお飲み物やつまむ程度の食べ物はご用意いたしますが、差し入れ等をご持参くだされば幸いです。

☆例会等ではございませんので、ご都合のつく方はご自由にお越しください。

●1 月新年例会

日 時：1 月 15 日（金）18 時 30 分～（受付開始：18 時 00 分）

場 所：西村屋和味旬彩

企 画：今泉副幹事長

会 費：大人 9,000 円（ビジター+1,000 円）

編集後記

私事ですが、先日祖父が永眠しました。
コロナでなく、100 歳の大往生でした。
ゴルフが好きで、廣野ゴルフ倶楽部の最高齢会員でした。
倶楽部のシニアチャンピオンになるほどの道楽者でした。
好き勝手 100 歳まで生きて幸せな人生だったと思います。



（BRB 編集長 鳥巢慶太）